

2020年3月期 第3四半期 財務諸表の概況(連結)

2020年2月14日

会社名 A F S コーポレーション株式会社 URL <https://www.afscorporation.co.jp/>
 代表者 代表取締役社長 新井 直弘 TEL 03(6838)8495
 問合せ先責任者 取締役 黒田 隆 特定取引勘定設置の有無 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	153,548	—	9,224	—	7,480	—

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 6,148百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	748,072 10	—

(注) 前年同期は四半期連結財務諸表を作成していないため、前年同期の実績は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率 (注1)	連結自己資本比率 (国内基準) (注2)
	百万円	百万円	%	%
2020年3月期第3四半期	4,423,025	313,283	7.0	(速報値) 10.5

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 313,213百万円

(注1) 「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計－期末非支配株主持分)を期末資産の部合計で除して算出しております。なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

(注2) 「連結自己資本比率(国内基準)」は、「銀行法第52条の25の規定に基づき、銀行持株会社が銀行持株会社及びその子会社の保有する資産等に照らしそれらの自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準(平成18年金融庁告示第20号)」に基づき算出しております。

(注3) 前期は連結財務諸表を作成していないため、前期の実績は記載しておりません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	—	—		

※注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結の範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
 新規 4社 (社名) 株式会社イオン銀行、イオン住宅ローンサービス株式会社、イオン保険サービス株式会
 社、AEON CREDIT SERVICE (PHILIPPINES) INC.
 除外 1社 (社名) イオン保険サービス株式会社

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期第3Q	10,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期第3Q	一株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期第3Q	10,000株

1. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位: 百万円)

当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)	
資産の部	
現金預け金	752,451
コールローン	50,529
買入金銭債権	29,190
金銭の信託	48,018
有価証券	328,297
貸出金	2,080,008
外国為替	1,423
割賦売掛金	890,087
その他資産	188,578
有形固定資産	18,167
無形固定資産	26,192
繰延税金資産	7,165
支払承諾見返	9,649
貸倒引当金	△6,736
資産の部合計	4,423,025
負債の部	
預金	3,787,668
借用金	42,155
外国為替	15
社債	2,050
リース債務	11,638
未払金	188,512
その他負債	44,663
賞与引当金	775
役員業績報酬引当金	48
退職給付に係る負債	21
睡眠預金払戻損失引当金	85
ポイント引当金	20,157
その他の引当金	110
繰延税金負債	2,188
支払承諾	9,649
負債の部合計	4,109,742
純資産の部	
資本金	2,000
資本剰余金	303,592
利益剰余金	6,838
株主資本合計	312,431
その他有価証券評価差額金	818
為替換算調整勘定	△34
退職給付に係る調整累計額	△1
その他の包括利益累計額合計	782
非支配株主持分	69
純資産の部合計	313,283
負債及び純資産の部合計	4,423,025

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位: 百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
経常収益	153,548
資金運用収益	73,138
(うち貸出金利息)	68,535
(うち有価証券利息配当金)	3,494
役務取引等収益	61,873
その他業務収益	15,255
その他経常収益	3,279
経常費用	144,323
資金調達費用	3,071
(うち預金利息)	2,635
役務取引等費用	59,137
その他業務費用	544
営業経費	78,910
その他経常費用	2,658
経常利益	9,224
特別利益	2,007
固定資産処分益	0
関係会社株式売却益	2,007
特別損失	420
固定資産処分損	160
減損損失	207
その他の特別損失	51
税金等調整前四半期純利益	10,812
法人税、住民税及び事業税	4,424
法人税等調整額	△602
法人税等合計	3,822
四半期純利益	6,990
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△490
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,480

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	6,990
その他の包括利益	△841
その他有価証券評価差額金	△873
為替換算調整勘定	△38
退職給付に係る調整額	69
四半期包括利益	6,148
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	6,641
非支配株主に係る四半期包括利益	△493

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

当社は、2019年4月1日にイオンフィナンシャルサービス株式会社の有するイオン銀行等の国内子会社および一部の海外子会社の株式を承継する吸収分割を実施したことに伴い、第1四半期連結会計期間より、株式会社イオン銀行、イオン住宅ローンサービス株式会社、イオン保険サービス株式会社及びAEON CREDIT SERVICE (PHILIPPINES) INC. を連結の範囲に含めております。

また、当第3四半期連結会計期間において、当社の連結子会社である株式会社イオン銀行が保有するイオン保険サービス株式会社の全株式を売却したことにより、連結の範囲から除外しております。

(追加情報)

重要な子会社の株式の売却

当社の連結子会社である株式会社イオン銀行（以下「イオン銀行」）は、イオン銀行が保有するイオン保険サービス株式会社（以下「イオン保険サービス」）の全株式を、2019年10月1日にイオンフィナンシャルサービス株式会社（以下「イオンフィナンシャルサービス」）に売却いたしました。

1. 株式の売却の概要

(1) 当該子会社の名称および事業内容

名称	イオン保険サービス
事業内容	保険代理業

(2) 株式の売却を行った理由

銀行業務が健全に運営されるガバナンス体制を維持しつつ、より柔軟なビジネスモデルの構築が図れることの両立を目的としたグループ体制の再編を行う必要があると判断し、その一環としてイオン保険サービスの全株式をイオンフィナンシャルサービスに売却いたしました。

(3) 株式売却日

2019年10月1日

(4) 法的形式を含むその他取引の概要に関する事項

現金を対価とする株式売却

2. 実施した会計処理の概要

(1) 移転損益の金額

関係会社株式売却益 2,007百万円

(2) 移転した事業に係る資産及び負債の適正な帳簿価額並びにその主な内訳

資産合計 7,780百万円

負債合計 5,365百万円

(3) 会計処理

イオン保険サービスの連結上の帳簿価額と売却価額との差額を、「特別利益」に計上しております。

3. 四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書に計上されている当該分離企業に係る損益の概算額

経常収益 3,601百万円

経常利益 296百万円